



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社フェイスネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 3489 URL https://faithnetwork.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)蜂谷 二郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 (氏名)石丸 洋介 (TEL)03(6432)9937
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,913	11.2	△40	—	△82	—	△58	—
2020年3月期第1四半期	1,721	38.7	△92	—	△151	—	△106	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△11.69	—
2020年3月期第1四半期	△21.33	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,303	4,022	28.1
2020年3月期	13,295	4,229	31.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,022百万円 2020年3月期 4,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△6.5	1,050	1.4	850	5.7	560	2.2	112.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	4,980,000株	2020年3月期	4,980,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	77株	2020年3月期	77株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,979,923株	2020年3月期1Q	4,980,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言発令を機に急速な悪化が続き、極めて厳しい状況にありました。企業収益は急速に減少し、雇用情勢は弱い動きとなっておりますが、個人消費はこのところ持ち直しの動きが見られます。また、輸出は急速に減少し、生産は減少しているものの、企業の業況判断は改善の兆しがみられ、下げ止まりつつあります。海外経済においても新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるものの経済活動の段階的な再開が進められております。ただし、先行きは感染症の第2波への懸念等不透明な状況が続いております。

当社が属する不動産業界におきましては、2020年上半期の首都圏マンションの供給は44.2%減の7,497戸と大幅な減少となりました。地価の上昇や建設コストの高止まりの影響、都心部の物件の人気により、平均価格は8.7%上昇の6,668万円、平米単価は13.7%上昇の103.1万円と平均価格、平米単価のいずれも上昇という状況となりました(株)不動産経済研究所調べ)。

このような状況の中、当社は城南3区を中心に、新築一棟マンションGranDuoシリーズの企画開発及び販売の拡大、不動産小口化商品事業、ワンストップサービス体制の充実、さらにブランド力の強化を図ってまいりました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高1,913,481千円(前年同期比11.2%増)、営業損失40,261千円(前年同期は92,903千円の損失)、経常損失82,598千円(前年同期は151,778千円の損失)、四半期純損失58,232千円(前年同期は106,228千円の損失)となりました。なお、当社の経営成績は不動産業の性質上、貸貸需要が活発化する第3四半期会計期間及び第4四半期会計期間に売上高が大きくなる傾向にあります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①不動産投資支援事業

不動産投資支援事業につきましては、不動産商品3件を販売いたしました。売上高1,785,165千円(前年同期比13.7%増)、セグメント損失56,466千円(前年同期は130,702千円の損失)となりました。

②不動産マネジメント事業

不動産マネジメント事業につきましては、在庫保有期間の短縮により賃貸収入が減少いたしました。また、働き方改革等も踏まえた人員の拡充による人件費等の計上を行ったことにより、売上高128,315千円(前年同期比15.3%減)、セグメント利益16,204千円(前年同期比57.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は、前事業年度末に比べ1,007,095千円増加し、14,303,022千円となりました。その要因は、主に販売用不動産が2,013,936千円、完成工事未収入金が256,734千円増加し、現金及び預金が1,043,281千円、仕掛販売用不動産が332,372千円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1,213,822千円増加し、10,280,622千円となりました。その要因は、主に借入金が1,435,820千円増加し、工事未払金が92,969千円、未払法人税等が134,089千円及び賞与引当金が54,562千円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ206,727千円減少し、4,022,399千円となりました。その要因は、主に繰越利益剰余金が四半期純損失により58,232千円、剰余金の配当により149,397千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、2020年5月22日の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,379,610	1,336,328
完成工事未収入金	252,257	508,992
販売用不動産	549,452	2,563,389
仕掛販売用不動産	7,661,249	7,328,876
前渡金	97,966	20,033
その他	73,390	220,903
流動資産合計	11,013,927	11,978,524
固定資産		
有形固定資産		
建物	901,333	941,989
構築物	2,406	2,406
機械及び装置	101,514	101,514
車両運搬具	18,455	18,455
工具、器具及び備品	41,121	42,663
土地	1,215,389	1,236,128
減価償却累計額	△191,583	△204,236
有形固定資産合計	2,088,638	2,138,922
無形固定資産	19,213	19,920
投資その他の資産	174,147	165,654
固定資産合計	2,281,999	2,324,497
資産合計	13,295,926	14,303,022

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,259,057	1,166,087
短期借入金	339,650	1,469,000
1年内返済予定の長期借入金	2,502,411	3,515,390
1年内償還予定の社債	73,400	73,400
未払金	94,999	49,874
未払法人税等	136,465	2,376
前受金	377	493
未成工事受入金	169,565	173,477
預り金	215,310	251,511
賞与引当金	102,214	47,651
アフターコスト引当金	9,809	10,050
工事損失引当金	6,916	6,916
その他	22,489	55,359
流動負債合計	4,932,665	6,821,590
固定負債		
社債	96,500	96,500
長期借入金	4,013,670	3,307,162
その他	23,963	55,370
固定負債合計	4,134,134	3,459,032
負債合計	9,066,800	10,280,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,120	681,120
資本剰余金		
資本準備金	631,120	631,120
その他資本剰余金	220	220
資本剰余金合計	631,340	631,340
利益剰余金		
利益準備金	10,000	10,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	8,700	7,429
繰越利益剰余金	2,900,860	2,694,501
利益剰余金合計	2,919,560	2,711,931
自己株式	△101	△101
株主資本合計	4,231,919	4,024,289
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△2,793	△1,890
評価・換算差額等合計	△2,793	△1,890
純資産合計	4,229,126	4,022,399
負債純資産合計	13,295,926	14,303,022

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,721,174	1,913,481
売上原価	1,461,012	1,652,696
売上総利益	260,161	260,784
販売費及び一般管理費	353,064	301,046
営業損失(△)	△92,903	△40,261
営業外収益		
自動販売機収入	68	42
保険金収入	1,569	966
その他	497	127
営業外収益合計	2,134	1,137
営業外費用		
支払利息	35,122	31,605
支払手数料	20,116	6,373
その他	5,770	5,495
営業外費用合計	61,009	43,474
経常損失(△)	△151,778	△82,598
税引前四半期純損失(△)	△151,778	△82,598
法人税、住民税及び事業税	572	572
法人税等調整額	△46,122	△24,938
法人税等合計	△45,549	△24,366
四半期純損失(△)	△106,228	△58,232

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	不動産投資支援事業	不動産マネジメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,569,662	151,512	1,721,174
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,569,662	151,512	1,721,174
セグメント利益又は損失(△)	△130,702	37,799	△92,903

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	不動産投資支援事業	不動産マネジメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,785,165	128,315	1,913,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,785,165	128,315	1,913,481
セグメント利益又は損失(△)	△56,466	16,204	△40,261

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。